

評価報告概要表

■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	令和 元年 10月 28日 (月)

■福祉サービス事業者情報

名 称	ひのやま保育園	種 別	保育所
代表者氏名	園長 本多 孝子	開設年月日	平成30年4月1日
設 置 者	社会福祉法人 光栄会	定員(利用人数)	19名(13名)
所 在 地	〒755-0152 宇部市あすとぴあ6丁目11-21-5		
電 話 番 号	0836-43-7633	FAX番号	0836-43-7634
ホームページアドレス	http://www.koueikai.net/hinoyama_hoiku.html		

■総 評

全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

◇特に評価の高い点

法人本部が「女性の活躍・地域貢献・子育て」を応援し、職場環境を整え職員の定着に繋げる取組の一つとして、企業主導型の保育園を昨年(平成30年)4月に開設されました。今年(令和元年)4月には新園長を迎え、開設2年目でありながら第三者評価を受審されるなど、より良い保育の実践に向けて取り組まれています。園長はこれまでの保育所での経験と保育に対する情熱を生かし、園の理念を分かりやすい一言「子どもファースト」で表すなどリーダーシップを発揮され、職員全員で「子どもファースト」の保育園を目指しておられます。

保育内容の活動計画を職員それぞれの視点でフィードバックしている詳細な記録と整備がなされているため、子ども一人ひとりの状況を共有化し易くなっています。また、職員は可能な限り研修会へ参加することで、スキルアップの機会が充実してきています。そうした報告を伝えていくことが、職員が意見を言いやすい雰囲気となつて、定着率100%を堅持しておられる要因と考えられます。

また、今年度から自園調理方式が採用されたため、献立も子どもの喜ぶものになりました。さらに、年2回の小児科医の健康診断と、年1回の歯科医の歯科検診を実施し、結果を職員及び保護者に周知しておられます。

同法人の隣接する高齢者福祉施設や児童発達支援センターとは、世代を超えた交流を行える環境にあるため、施設や事業所との交流や付近の散歩・散策が可能であり、地域との交流も進めておられます。

◇改善を求められる点

保育室は安全・衛生上の整理整頓も必要ですが、子どもが自由に遊具を選んで遊ぶことができないよう収納管理されているため、子どもが主体的に活動できる環境構成に工夫が必要と考えられます。また、2歳児の保育室とトイレまでの距離が少々長く感じるため、発達段階よっての配慮が期待されます。

1歳児、2歳児は、保護者に園生活の様子を言語で説明することができるようになる途中の段階であるため、補完のために連絡帳は必要と考えられます。

年1回は保護者とともに全体懇談会を開催するなど、保護者が集う機会を設けることが期待されます。

地域に密着した0歳児～3歳未満児保育の専門保育施設として、ニーズの受入れ枠増加の検討が望まれます。

中学校・高校や学生インターンシップとともに、保育士養成校からの実習生の受入れや、ボランティアの受入れシステムの確立により、地域との関係づくりや、子育て支援機関として地域貢献できるよう、検討が求められます。

■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

この度、初めて第三者評価を受審し、第三者の視点から評価をしていただくことで、自園の現状がより明確になりました。

高評価をいただいた点は引き続きより良いものとなるように、また改善していく点は少しずつでも取り組んでいけるように努力していきたいと思っております。

評価報告概要表

■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	2	b	7	c	0	Na
<p>社会福祉法人光栄会の理念や中・長期計画が、園の保育方針、事業計画、年間計画に浸透しており、その理念や方針などは明文化され、職員や保護者への周知がなされています。また、法人の管理者会議に園長が出席し、法人全体の経営課題について検討し、月次状況報告で経営状況の把握・分析がなされています。園長は会議内容を、職員へは職員会議にて、欠席者には議事録の回覧にて周知を図っておられます。年度当初には年間計画や事業計画を保護者へ配布し、玄関や各クラスに掲示して周知、説明されています。さらに、ヒヤリハットの作成・回覧など、事故防止・安全対策に努められます。</p> <p>今後、地域の各種福祉計画の動向と施策内容の把握と分析に加え、地域の特性に合わせた経営環境や課題の考察に取り組まれることが期待されます。</p>							

II 組織の運営管理	a	5	b	9	c	4	Na
<p>園は平成30年開設の2年目で、園長は今年が着任初年度ですが、これまでの経験を生かして目標達成のため、責任とリーダーシップを発揮しながら、職員のやる気を活かした一人ひとりの育成と自己実現の達成に向けた取組を行っておられます。その一つとして、職員一人ひとりの教育・研修に関して、参加の大切さを知らせ積極的な参加を促し、参加に配慮されています。また、今年度より勤務シフトの適正化にチャレンジし、時間外勤務の削減など、職員の健康管理と健康経営状況の改善に努められます。</p> <p>今後は地域に密着した未満児保育の専門施設として、インターンシップや実習生の受入れ、ボランティアの受入れシステムの確立や、地域の福祉関係者との連携により、福祉力向上のために取り組まれることが期待されます。また、法人自体のホームページはあるものの、園独自のホームページの作成が見られないため、これからは、保護者をはじめ市民から興味を持たれるホームページで利用者確保に繋げていくことが望まれます。</p>							

III 適切な福祉サービスの実施	a	10	b	7	c	1	Na
<p>手厚く充実した企画・整備・運営の検討をされています。指導計画等策定に関しては、保育所保育指針等を活用して週日案・月案・年間指導計画を作成し、また行事後のアンケートを行い、保護者の意向を把握して月間個別指導計画を毎月作成されています。</p> <p>今後は保護者の意見を運営に取り入れていく努力の一つとして、匿名での意見も反映できるシステム構築のための検討が必要と考えられます。</p>							

IV 良質な個別サービスの実施	a	10	b	9	c	1	Na
<p>施設内は冷暖房完備で、各部屋や廊下には床暖房、空気清浄機、加湿器が設置してあります。また、園長は各クラス・各職員の保育のふり返りを促し、より良い保育実践につながる職員の育成に多大な努力を費やしておられます。職員はプレチェック表への記入により、子ども一人ひとりに配慮すべきことを意識しながら、全職員で共有できるようにされています。</p> <p>子どもの主体性を尊重し、活動の一つとして、隣接する法人の高齢者施設、児童発達支援センターとの交流に取り組まれています。</p> <p>食材に触れることから調理と喫食につながる過程にも子ども達を参加させる取組を行っておられます。これらの取組を食育計画に編成してPDCAサイクルの過程でふり返り、より良い実践に繋がることで、近隣の保育所が視察に来るような未満児保育の先駆的保育所になることが期待されます。</p> <p>今後は、子ども自身が主体的に遊んだり、活動したりできる遊具が少ないことや、一人ひとりがくつろぐ場所の確保への工夫が望まれます。</p>							

第三者評価結果表

施設名 ひのやま保育園

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

【 評価項目 】		a	b	c	Na
1 理念・基本方針					
(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。					
1	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。		○		
<p>(特に評価が高い点) 理念・保育方針の事業計画や全体的な計画への明文化を図っていると同時に、職員会議で説明し、欠席者へは議事録の回覧をし、職員への周知をされています。また、玄関・各クラスに掲示し、保護者へはしおりを配布されています。</p> <p>(改善が求められる点) 保護者会が組織されておらず、保護者会等で資料をもとに説明することができていないため、今後検討されることを期待します。</p>					
2 経営状況の把握					
(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。					
2	1 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。		○		
3	2 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 園長が法人の管理者会議に出席し、法人全体の経営課題について検討し、法人本部からの事業活動計画書に基づいて月次状況報告をするなど、経営状況の把握・分析がなされています。また、その内容は職員間でも課題として検討されています。</p> <p>(改善が求められる点) コスト削減のみでなく、地域の各種福祉計画の策定とその内容の把握・分析や、地域の特徴・変化等の経営環境などの課題を把握していることを、取組に移していくよう検討されることが期待されます。</p>					
3 事業計画の策定					
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。					
4	1 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		○		
5	2 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		○		
(2) 事業計画が適切に策定されている。					
6	1 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。		○		
7	2 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。		○		
<p>(特に評価が高い点) 中・長期計画や理念や基本方針の内容を反映した事業計画、年間計画が立てられています。また、職員会議、朝礼や各クラスの話し合いなどで職員に周知し、保護者にも周知、説明がなされています。</p> <p>(改善が求められる点) 中・長期計画や事業計画において数値目標が設定されていないため、具体的な成果や評価に繋がっていないことから今後の検討が望まれます。また、保護者会などでの説明の機会を作れば、理解者・協力者が増えていくと考えられます。</p>					

【 評価項目 】				a	b	c	Na
4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組							
(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。							
8	1	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。		○			
9	2	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。			○		
<p>(特に評価が高い点) 保育の質の向上に向けて、園長を中心に日々の話し合いを密にし、ヒヤリハットに留意しながらお互いの保育のふり返りをされています。また、職員参画のもとに書類改善やそれぞれの課題の改善への取組を行っておられます。</p> <p>(改善が求められる点) 評価結果を分析し、課題への対応を明文化していくことで、さらなる保育の質の向上に繋がることが期待されます。</p>							

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

1 管理者の責任とリーダーシップ							
(1) 管理者の責任が明確にされている。							
10	1	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。		○			
11	2	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。		○			
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。							
12	1	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。		○			
13	2	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。			○		
<p>(特に評価が高い点) 園長が「子どもファースト」を徹底され、指導の中で自らの役割と責任を職員に口頭で表明しながら、利用者の利益とは何かを一番に考えて、日々保育にあたる努力を促しておられます。また、法人内のコンプライアンス委員会による周知と課題把握に努め、改善の具体的な取組をされています。</p> <p>(改善が求められる点) 施設長からのトップダウンのみならず、業務改善チームを組織するなど横断的な活動の検討が期待されます。</p>							

2 福祉人材の確保・養成							
(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。							
14	1	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。			○		
15	2	総合的な人事管理が行われている。			○		
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。							
16	1	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。			○		

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。					
17	1 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。		○		
18	2 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。		○		
19	3 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	○			
(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。					
20	1 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。			○	
<p>(特に評価が高い点) 職員一人ひとりの教育・研修の機会を設けるとともに、参加の大切さを周知して積極的な参加を促し、だれもが参加し易いように勤務形態に配慮がなされています。</p> <p>(改善が求められる点) 開設年数がわずかであり、保育に関わる専門職の研修・育成の受入れ体制の整備がされていないため、小・中・高校生の職場体験学習やインターンシップでの実習の受入れなどから始められるよう検討が求められます。 職員の就業状況や意向について、悩み相談窓口等、職員の希望を聴取しやすい体制を組織内に整備されることが望まれます。</p>					

3 運営の透明性の確保		a	b	c	Na
(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。					
21	1 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。		○		
22	2 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 経営面は法人本部が管理しており、管理者会議において事業活動計画書に基づき毎月の保育園の状況を示し、その内容は職員に周知されています。法人経営については顧問会計士からの助言もあり、運営の公正さかつ透明性の確保に繋がっております。</p> <p>(改善が求められる点) 保育所から地域に向けたホームページや情報発信が不十分なため、子育て世代が使い易いSNSの活用を検討されることが望まれます。</p>					

4 地域との交流、地域貢献		a	b	c	Na
(1) 地域との関係が適切に確保されている。					
23	1 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。		○		
24	2 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。			○	
(2) 関係機関との連携が確保されている。					
25	1 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。		○		

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。					
26	1 保育所が有する機能を地域に還元している。			○	
27	2 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。			○	
<p>(特に評価が高い点) 法人として、民生児童委員をはじめ福祉活動の実践者と連絡を密にしておられ、また、法人内の老人福祉施設の利用者と交流する機会を継続して持たれています。</p> <p>(改善が求められる点) 地域との関わり方について基本的な考え方の文書化や、ボランティア受入れに関する基本姿勢の明文化をしてマニュアル化することが求められます。また、地域の子育て世代が気軽に育児相談や交流に訪ねて来ることができる工夫が望まれます。</p>					

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者本位の福祉サービス					
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。					
28	1 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。		○		
29	2 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	○			
(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。					
30	1 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	○			
31	2 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	○			
32	3 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。		○		
(3) 利用者満足の向上に努めている。					
33	1 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。			○	
(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。					
34	1 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。		○		
35	2 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	○			
36	3 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。		○		

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。					
37	1 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。		○		
38	2 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	○			
39	3 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。		○		
<p>(特に評価が高い点) 職員に対し、就業中も離職後も守秘義務を遵守することや、プライバシー保護、権利擁護、性差への固定的な対応をしないことを徹底し、配慮されています。着替えにおいても個別で行う配慮をしておられます。 利用希望者へは案内パンフレットを提供して説明をされています。また、見学には随時対応し、保育の開始・変更においても、保護者の意向を大切にされています。</p> <p>(改善が求められる点) 苦情解決の仕組みは整備されていますが、匿名でも意見を聞くことのできる意見箱を設けることなども必要と考えられます。 災害時における子どもの安全確保のため、災害発生時の対応体制や備蓄を整備することが望まれます。</p>					

2 福祉サービスの質の確保					
(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。					
40	1 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。		○		
41	2 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	○			
(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。					
42	1 アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	○			
43	2 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	○			
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。					
44	1 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	○			
45	2 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 保育所保育指針を指導計画等策定に活用し、週日案・月案・年間指導計画を作成し、保護者の意向を把握した月間個別指導計画を毎月作成されています。 保育の実施状況の記録、保管管理が適切に行われているとともに、回覧や個別に話す機会を持ち、その情報は職員間での共有化が図られています。</p> <p>(改善が求められる点) より安全で子ども一人ひとりを尊重した標準的な保育と、学齢に応じた保育の展開が期待されます。</p>					

IV 良質な個別サービスの実施(保育所)

【 評価項目 】		a	b	c	Na
A-1 保育内容					
(1) 保育課程の編成					
1	1	○			
<p>(特に評価が高い点) 法人の理念・方針に基づいた全体の計画を編成されています。保育園としての理念・方針・目標については、年度当初に昨年度のものを見直し、編成されています。</p> <p>(改善が求められる点) 年度内に定期的な評価を行い、フィードバックによる新たな編成をくりかえされることが期待されます。</p>					

(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開					
2	1	○			
3	2	○			
4	3	○			
5	4		○		
6	5		○		
7	6		○		
8	7		○		
9	8		○		
10	9		○		
11	10			○	
<p>(特に評価が高い点) 施設内はトイレに至るまで冷暖房完備で、部屋・廊下には床暖房、空気清浄機、加湿器の設置をされています。 職員はブレスチェック表への記入により、子ども一人ひとりに配慮すべきことを意識し、共有できるようにされています。 子どもの主体性を尊重し、活動としては、隣接する法人の高齢者施設、児童発達支援センターとの交流に取り組まれています。</p> <p>(改善が求められる点) 子ども自身が主体的に遊んだり、活動したりできる遊具が少ないこと、一人ひとりがくつろぐ場所の確保への工夫が望まれます。 小学校就学が近い子どもが在籍していないこともあり、保護者が小学校以降の子どもの生活について見直しを持てる機会の設定については十分とは言えないため、今後の取組が求められます。</p>					

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(3) 健康管理					
12	1 子どもの健康管理を適切に行っている。	○			
13	2 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	○			
14	3 アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 健康状態を把握するため、毎日の検温・視診・触診を必ず行い、家での様子を登園時に聞き取り記録し、全職員が確認するよう文書化されています。また、年2回の小児科医の健康診断と、年1回の歯科医の歯科検診を実施し、結果は職員及び保護者に周知されています。アレルギー対応ガイドラインに沿って保護者やかかりつけ医と連携されているほか、職員は慢性疾患等の研修会を受講されています。</p> <p>(改善が求められる点) アレルギーへの理解を深める取組などの実際を計画にも位置づけ、保護者へも伝えるよう広げていくことが期待されます。</p>					

(4) 食事					
15	1 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。		○		
16	2 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 今年度から自園調理に変更され、食育への取組としてスイカ割りや目の前で玉ねぎを調理してもらいそれを食べるなど、旬の食べ物に興味・関心が向くような行事を取り入れたり、調理員と保育士が意見を出しながら子どもにとって魅力のある食事を考慮されています。また、「全部食べた。」という子どもの達成感を得られるように、量の加減や食事の援助を個別に行う工夫が見られました。</p> <p>(改善が求められる点) 食育計画への取組が保護者へ見えるような掲示や、食事の写真やサンプルの掲示などがあれば良いと考えられます。</p>					

A-2 子育て支援					
(1) 家庭との緊密な連携					
17	1 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。		○		
<p>(特に評価が高い点) 保護者との対話、情報交換は登園・降園時など小まめに行われており、情報交換を密にする努力をされています。</p> <p>(改善が求められる点) 保護者会を予定どおり開催し、保護者が参加する機会を設けることが期待されます。</p>					

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(2) 保護者等の支援					
18	1 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	○			
19	2 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 保育所保育指針に基づき保護者支援を大切にするため、担当の保育士だけが問題に対応するのではなく、園全体で共通認識をして共に子育てをするというコンセプトのシステムの構築が図られています。</p> <p>児童相談所など関係機関との連携を図り、虐待行為に危機感を持ち、兆候を見逃さないように努め、小さなことでも全職員の情報共有を心掛け支援されています。</p> <p>(改善が求められる点) 個別計画には支援システムが記載されているため、全体の計画にも連携と支援の実際を編成していくことが期待されます。</p>					

A-3 保育の質の向上					
(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)					
20	1 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。		○		
<p>(特に評価が高い点) 園長はじめ職員は保育実践の自己評価を含めた振り返りをされ、次のステップアップに繋がる意識改革に取り組まれ始めています。このことが各職員にとって、年度末には自分自身が専門職として向上したと思えることにつながっています。</p> <p>(改善が求められる点) 今後、自己評価に基づいた互いの学び合いが、園全体の保育実践に繋げていけるシステムの構築に結びつくことが期待されます。</p>					